

瀬田東小学校

令和6年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

新しい価値と可能性を追究する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる

【学校 目標】

心身ともにたくましく、ひととの交わりを大切に、新しいものを創り出そうとする子どもの育成
 主体的・対話的な学習活動を通して、子どもの表現力を高め、「ことばの力」「想像する力」「自治的な風土」「健やかな心」を育む。

【現状と課題】

- 視点1 学級の中にさまざまな特性や背景を持った児童があり、どの子ども主体的に参加できる授業づくりが難しくなっている。聴くことを軸に学習規律を整え、どの子ども主体的に参加できるように工夫された授業づくりが必要である。
- 視点2 一方通行の表現が多く、考えが深まる学び合いができていない。自分の思いや考えを豊かに表現し合う場面を設けた授業づくりが必要である。
- 視点3 3つの校訓により、落ち着いた学習習慣、生活習慣が身についている。引き続き、教師も子どもも校訓にしっかり取り組む必要がある。校内研究が公開授業のときだけの一過性のものになっている。教師の力量を高め、子どもの成長につながる校内研究の実践が必要である。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○人の話をしっかり聴く。 ○子どもに見通しを持たせ、「視覚化」「焦点化」「共有化」を意識した授業づくりを行う。	・人の話をしっかり聴くことができたか。		
	・どの子ども主体的に参加できるように工夫して授業を行うことができたか。(教師)		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
以下の3つの表現力を育む ○主体性をもって表現する力 ○言葉や方法を工夫して表現する力 ○相手の言葉に関連付けて表現する力	・自分の思いや考えを進んで友達に伝えることができたか。		
	・自分の思いや考えが伝わりやすいように、工夫して友達に伝えることができたか。		
	・友達の言葉につなげて、自分の思いや考えを伝えることができたか。		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○教師が率先して、3つの校訓を実践する。(あいさつ、そうじ、聴く) OPDCAサイクルを活用し、一年間通して、学年研究を行う。	・3つの校訓を実践することができたか。		
	・3つの校訓を実践することができたか。(教師)		
	・校内研究の取り組みが自らの力量アップにつながったか。		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- 4月 研究主任から全体に向けて今年度の方向性を伝える。
 5月 各学年において、具体的な研究計画を立てる。

研究計画をもとに授業づくりを行う。毎月行われる学年会や研究推進会議の中で、随時検証・改善を行う。また、一年間のどこかで一本、学年による公開授業を行う。公開授業後は、研究会をひらき、交流の場を持つ。それぞれの学びは、研究通信として、学校全体に共有する。

- 2月 各学年による実践発表を行う。

今年度の取組の成果と課題